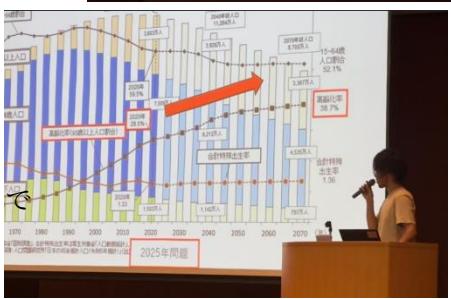
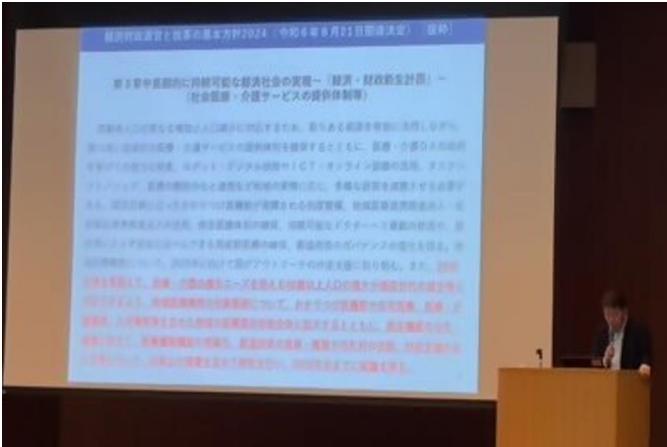


に、福井県医師会 理事の伊部晃裕（いべ あきひろ）医師を講師にお迎えし、『医療と介護の連携～2040 地域医療構想を踏まえて～』をテーマとした講演会を今年の7月に開催しました。続いて、福井市医師会 副会長の三崎裕史（みさき ひろふみ）医師と、オレンジホームケアクリニックの新田・池口医師から「在宅医療におけるデジタルデバイスの応用」についての講演をしていただきました。

（写真／伊部医師（上）三崎医師（右）新田・池口医師（左）の講演の様子）



目 次

会長あいさつ ▶ 1ページ

令和6年度の活動報告 ▶ 2ページ

はじめに、令和7年度総会において事業計画案や予算案並びに役員改選のご承認頂きありがとうございました。また、2年間会長の任を拝命したことに責任を持って進めたいと思います。

さて、2024 年度全国の倒産・廃業件数は過去最大となり原因として介護報酬の低下、人材不足、物価高騰など挙げられ、福井市においても事業の統廃合や廃止等と同じような傾向が見られ介護業界を取り巻く環境は厳しい現状です。

一方、行政の動きとして 2024 年補正予算で「協働化・大規模化による職場環境改善事業」、2025 年介護テクノロジー導入支援事業が挙げられます。前者は以前からある社会福祉連携推進法人とは異なり小規模事業者をグループ化して様々な課題に対して連携・協力して解決するための予算であり、後者は以前から ICT 導入により生産性の向上を高め人材確保対策の位置付けられています。その他にも、人材確保対策や認知症対策などの施策は継続されています。

福井市内の人口を見ても生産人口の減少や高齢者世帯・独居・生活困窮者の増加が見られ、さらに住まいの問題も取り上げられています。さらなる人手不足とサービスの提供が複雑化する中で第 10 次高齢者福祉計画が現在作成中で、これらの課題に対して解決策を盛り込まれるよう、会から参加している委員が現場の声を反映するよう訴えていきたいと考えております。



介護サービス事業者連絡会としては、役員会を通じてタイムリーな課題に対して講演会や勉強会などを開催することとしており、会員の役に立つ情報提供を心がけています。事業者間の連携・協力には、法人間の規模などの障壁があり難しいこともありますですが、まずは災害等の緊急対応として地域ごとに顔の見える連携が可能になることを目指していきたいと思っております。

福井市介護サービス事業者連絡会 会長 米田 尚

令和7年7月26日(土)の総会にて、前年度(令和6年度)の活動報告を行いました。

令和6年度の活動報告

令和6年度 総会・記念講演会

議事内容：事業実績・収支決算報告、事業計画・予算決議、会則の改正（全て承認）

《記念講演会》

日 時：令和6年7月20日(土) 14時30分～16時30分

会 場：福井県自治会館 多目的ホール

講 師：上吉原 良実 氏（独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局

小児救急看護認定看護師）

演 題：「令和6年度能登半島地震における対応～被災地の現状と課題～」

参 加 者：47名

令和6年度 意見交換会

日 時：令和6年12月4日(水) 13時00分～15時30分

会 場：福井県自治会館 多目的ホール

講 師：菊地 吉信氏(准教授) 森 早彩氏(学生)

（福井大学 工学部建築・都市環境工学科）

演 題：「圏域ごとの連携」について

参 加 者：連絡会会員(法人)に所属する事業所の職員及び福井市地区社会福祉協議会
約120名

令和6年度 勉強会

※オンライン形式で開催

日 時：令和7年2月27日(木) 13時30分～15時30分

講 師：モアヤングこもれびホーム 齊藤 亮太氏

キヤノン株式会社、株式会社ミタス、パナソニック株式会社

演 題：「ICT機器を活用した事例紹介」、「ICT機器の紹介について」

参 加 者：連絡会会員 38事業者